

令和3年8月13日(金)

東北地方整備局
北陸地方整備局
第二管区海上保安本部

～八戸港沖で座礁した貨物船に関する取り組み～

おおがたしゆんせつけんあぶらかいしゆうせん はくさん
大型浚渫兼油回収船「白山」が流出油の回収作業を開始します。

令和3年8月11日(水)午前、八戸港内で錨泊中のパナマ船籍貨物船「CRIMSON POLARIS」が座礁により油が流出し、第二管区海上保安本部から東北地方整備局に対する防除措置の要請を受け、現在、大型浚渫兼油回収船「白山」（北陸地方整備局所属）が、現地海域に到着し作業を開始しました。

なお、現場海域の海象状況により、本日は航走及び放水拡散作業を行っています。

記

【8月13日(金)の作業予定】

- 15時40分頃：大型浚渫兼油回収船「白山」が、現場海域にて航走拡散作業開始
- 17時50分頃：作業終了予定
- 18時30分頃：大型浚渫兼油回収船「白山」が、八戸港に到着予定

〈同時発表記者クラブ：北陸地方整備局管内各県政記者クラブ、専門紙、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局

港湾空港部 海洋環境・技術課長 小岩、 港湾空港防災・危機管理課長 似内
(022) 716-0004 (022) 716-0024

国土交通省 北陸地方整備局

港湾空港部 海洋環境・技術課長 伊賀、 港湾空港防災・危機管理課長 奥田
(025) 280-8761 (025) 280-8759

第二管区海上保安本部

警備救難部 環境防災課長 田中
(022) 363-0111

■作業エリア



「白山」流出油回収範囲

■状況写真

※写真は後日提供致します。必要な方は、東北地方整備局までご連絡ください。

【参考】大型浚渫兼油回収船「白山」の概要

平成9年1月のロシア船籍タンカー「ナホトカ号」による重油流出事故では、約6,000klもの重油が流出し、福井県沿岸をはじめとする日本海沿岸に甚大な被害をもたらしました。

この事故をきっかけに、流出油災害の防除体制の強化が求められ、国土交通省では、
日本沿岸の油流出事故に対し、中部地方整備局「清龍丸」・九州地方整備局「海翔丸」・北
陸地方整備局「白山」の油回収船3船体制で48時間以内に現場に到着できる体制を整え
ることとし、平成14年8月に「白山」が新潟港湾・空港整備事務所に配備されました。

大型浚渫兼油回収船「白山」の諸元

- ・全長93.9m ・幅17.0m
- ・深さ7.5m ・総トン数4,185t
- ・航行速力12.5kt(時速約23km/h)
- ・浚渫方式 サイドドラグ式
- ・泥倉容量 1,350m³
- ・油回収機
舷側設置式 500m³/h×2基
投げ込み式 250m³/h×1基
- ・回収油水槽容量 1,500m³



◆大型浚渫兼油回収船 3船体制での油回収エリア

- 白山 (新潟港)
- 清龍丸 (名古屋港)
- 海翔丸 (北九州港)

